

日本の安全で人間的なお産をはじめとする母子の健康は、  
先人から積み上げてきた母子保健の取り組みの賜物。  
このような、日本の資源や技術、地域実践の経験を生かした国際協力が、  
開発途上国にどのような効果を与えるのか、身近な地域にどのような効果をもたらすのか。  
「地域資源を活かした開発途上国に対する母子保健の協力」をテーマに  
国、大学、地域の視点から紐解きます。

日時 2022年 2月15日(火) 14:00~17:00  
(受付開始13:30)

会場 **ハイブリッド開催** ・オンライン (zoomオンライン)  
・駒ヶ根市地域交流センター (赤穂公民館)  
※COVID-19の状況によりオンラインのみの開催となる可能性があります

### ●講演

#### 母子保健分野の協りに係るODAの方針

外務省 国際協力局国際保健政策室  
経済協力専門員

市野 紗登美 氏



#### 母子保健分野の国際協力の現場から

独立行政法人国際協力機構 (JICA)  
人間開発部次長兼保健第二グループ長

吉田 友哉 氏



#### 母子保健を取り巻く世界的な状況と 国際看護学から見た看護職の役割

長野県看護大学 看護学部教授

望月 経子 氏



#### 市民参加によるネパールでの母子保健プロジェクト ～民際協力を地域の文化に～

ネパール市民の会 プロジェクトマネージャー

北原 照美 氏



### ●パネルディスカッション

#### <予定テーマ>

- ・日本の母子保健サービスの特色や強み
- ・母子保健の国際協力の現場で必要とされている  
日本の資源や技術、地域実践の経験
- ・国、大学、地域の連携や協働の意義
- ・国際協力に関わる人々や地域に与える効果、等

### ●展示

母子保健やジェンダー平等などに関する事業の展示

### 参加 無料・要申込

※2月8日(火)までにお申し込みください

・申込フォーム <https://bit.ly/336T2DB>

・申込電話 駒ヶ根市 企画振興課 0265-83-2111



主催 駒ヶ根市 外務省 (令和3年度 外務省共催 国際情勢講演会)

後援 独立行政法人国際協力機構(JICA) 長野県看護大学 ネパール交流市民の会 駒ヶ根市文化財団  
一般社団法人長野県助産師会上伊那地区(上伊那助産師会) 駒ヶ根協力隊を育てる会  
公益社団法人青年海外協力協会(JOCA) 一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR) 予定

## 第1回駒ヶ根フォーラム

# 開発途上国に対する母子保健の協力

ローカルリソースを活用した取り組み

駒ヶ根に縁の深いテーマについて多様な有識者や実践者とともに掘り下げることで、「学びと交流の場」をつくる「駒ヶ根フォーラム」

# 開発途上国に対する母子保健の協力 ～ ローカルリソースを活用した取り組み ～

駒ヶ根に縁の深いテーマについて、多様な有識者や実践者とともに掘り下げることで、より生涯活躍のまちづくりに資する「学びと交流の場」をつくる「駒ヶ根フォーラム」。

第1回は、地域資源を活用した当市の特徴的な取り組みである「開発途上国に対する母子保健の協力」。

「母子保健」という日本を含む世界中に普遍的に存在する課題に対して、

国・大学・地方が、それぞれの経験や資源を活かして、どのように国際協力に取り組んでいるのか、どのような連携をしているのか、さらに、その取り組みが関わる人々や地域にもたらす効果について学びを深めます。



## 【プログラム】

14:00 開会挨拶 駒ヶ根市長 伊藤 祐三

## 14:10 基調講演

### ●「母子保健分野の協力に係るODAの方針」

外務省 国際協力局国際保健政策室 経済協力専門員 市野 紗登美 氏

【プロフィール】 JICA海外協力隊（マダガスカル、村落開発普及員）参加後、国連人口基金（UNFPA）ウクライナに赴任。（公財）日本ユニセフ協会広報室勤務後、長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科で公衆衛生学修士号取得。同大学、戦略職員として外務省国際協力局国際保健政策室に outward（国際保健政策専門員）し、現在に至る。



### ●「母子保健分野の国際協力の現場から」

独立行政法人国際協力機構(JICA) 人間開発部次長兼保健第二グループ長 吉田 友哉 氏

【プロフィール】 JICA採用後、青年海外協力隊事務局、総務部を経て、JICAフィリピン事務所にて保健医療・衛生分野を担当。米国国際開発庁グローバル保健局へ出向し、保健分野の日米連携促進業務に従事。JICA復職後、人間開発部勤務。長期研修先のロンドン大学衛生・熱帯医学校にて修士号取得。JICA復職後、無償資金協力部、資金協力支援部勤務を経て、ガーナ国保健サービス局にて地域保健政策形成に従事。JICA復職後、人間開発部保健第二グループ保健第三チーム課長を経て、現在に至る。



### ●「母子保健を取り巻く世界的な状況と国際看護学から見た看護職の役割」

長野県看護大学 看護学部教授 望月 経子 氏

【プロフィール】 長野県看護大学大学院博士後期課程修了（国際看護学/看護学博士）。山梨県の保健師として勤務。JICA専門家としてラオス国看護助産人材育成強化プロジェクトにチーフアドバイザーとして勤務。その後、JICA専門家としてカンボジア保健人材育成システム強化プロジェクトに勤務。JICA短期専門家としてバングラデシュ派遣。高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科勤務を経て、現在に至る。



### ●「市民参加によるネパールでの母子保健プロジェクト ～民際協力を地域の文化に～」

ネパール市民の会 プロジェクトマネージャー 北原 照美 氏

【プロフィール】 JICA青年海外協力隊（モルディブ、幼児教育）参加後、モルディブのユニセフにて幼児教育事業コンサルタントとして勤務。JICA駒ヶ根にて訓練・国際理解教育・広報を担当。JICAガーナ事務所ボランティア調整員として勤務後、ネパール交流市民の会でJICA草の根技術協力事業（ネパール、母子保健）のプロジェクトマネージャーを担当。現在、「ラム色コラボ」代表として、SDGs推進事業やチームビルディングのファシリテーターなどの活動を展開中。



15:40 休憩

## 15:50 パネルディスカッション

（ファシリテーター）吉田 友哉 氏 （パネリスト）市野 紗登美 氏 望月 経子 氏 北原 照美 氏

### ●予定テーマ

- ・ 日本の母子保健サービスの特色や強み
- ・ 母子保健の国際協力の現場で必要とされている、日本の資源や技術、地域実践の経験
- ・ 国、大学、地域の連携や協働の意義
- ・ 国際協力に関わる人々や地域に与える効果、等

16:50 講評 駒ヶ根市長 伊藤 祐三 （閉会17:00）

【展示】 駒ヶ根市地域交流センターロビーで、母子保健やジェンダー平等などに関する事業の展示